

# 苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 12 回 定例委員会
日時	令和3年12月24日 自 15時00分 至 16時26分
場所	第2庁舎2階南会議室
出席委員	教 育 長 五十嵐 充 委 員 佐藤 郁子 委 員 齋藤 智子 委 員 岡田 秀樹 委 員 高橋 憲司
欠席委員	
会議録署名委員	岡田 秀樹 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 田中 真奈
事務局職員	教 育 部 長 瀬 能 仁 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 次 長 齋 藤 貴 志 教 育 部 参 事 池 田 健 人 教 育 部 参 事 桑 島 久 典 学 校 教 育 課 長 神 保 英 士 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 杉 本 貴 浩 指 導 室 指 導 主 事 山 岸 理 枝 総 務 企 画 課 主 査 山 口 元 総 務 企 画 課 主 査 矢 部 妙 子 総 務 企 画 課 主 事 安 藤 龍 慧 総 務 企 画 課 主 事 田 中 真 奈
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（五十嵐教育長）・・・15時00分
2	会議録署名委員の指名（岡田秀樹委員）
3	会議録の承認
	（五十嵐教育長） 第11回定例教育委員会（令和3年11月19日開催）の会議録
	について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
	（一同「はい」の声）
	-会議録どおり承認-
4	教育長の報告
	（五十嵐教育長） 前回、11月19日開催の第11回定例教育委員会以降の主な事業等について報告いたします。
	予定していた最後の外国語指導助手（ALT）が来苦し、11月25日に私から辞令を交付しました。当初は、令和2年度中に6人から14人にする計画でありましたが、新型コロナウイルスの影響により、1年遅れでようやく増員が実現しました。これで各中学校区に1人ずつの配置となり、今後はイングリッシュカフェなど、英語の授業のみならず、まち全体で英語を学び続ける環境づくりを推進してまいります。後程、報告案件として、池田参事から説明があります。
	第18回苫小牧市議会定例会が11月30日から12月10日まで開かれました。
	一般質問は全部で23人、そのうち15人の議員から教育関連の質問がありました。

配布の資料をご覧ください。2点紹介します。まず、総合教育会議で委員の皆さんからもご意見をいただいた「小中学校規模適正化」については、金澤議員と竹田議員が取り上げ、また、文教経済常任委員会においても複数の議員から質疑があった、議員の関心も極めて高い案件です。今後、緊急度、優先度の高い地区から学校や地域と協議を進めていきたいと考えています。

次に、谷川議員が質問した「校舎の管理運営」については、登校時間より早く登校した児童が外にいるのを見た、市民から問合せがあったことによるものですが、改めて学校において登校時間の保護者周知の徹底を図るよう、校長会議や教頭会議の場を通じて指示してしたところです。

12月4日、文化交流センターにおいて、第45回中学生主張発表大会を開催しました。市内15の中学校の代表生徒が日頃の生活の中で感じていることや考えていることを聴衆の前で発表しました。佐藤郁子委員には審査委員長と講評をお願いいたしました。大変ありがとうございました。緑陵中学校の二瓶晴嬉さんが「変わりゆく世界と私」と題して、コロナ禍で様々な制約がある一方で、ICTの活用が進んでいく生活の変化を自らのアンテナで積極的に捉えることの重要性を訴えて、最優秀賞を受賞しております。

23日、北海道教育推進会議が札幌市の北海道第二水産ビルで開催され、「新たな北海道教育推進計画」について審議してまいりました。まだ計画策定の途中段階ですが、私からは、昨今の教員採用試験受験者の減少に関連して、教員の勤務条件の改善の必要性について、そして苫小牧市内高校生の小中学校でのインターンシップの今年度の実施状況と、今後の積極的な取組方針についてお話してきました。続いて本日午前10時から、むろらん広域行政センターにおいて、胆振管内教育委員会教育長会議が「令和4年度胆振管内教育推進の重点」などを議題に開催されました。会議の前後には、来年度の管理職人事についての協議、情報交換も精力的に行ってきたところです。

最後に、植苗小中学校を除き、中学校は21日、小学校は本日24日に2学期の終

業式を終え、冬季休業に入っております。中学校は1月14日、小学校は1月18日に3学期が始まる予定ですが、3学期からはいよいよ新第2学校給食共同調理場が供用開始となります。給食のおかずが1品増え、食器も新しくなりますので、子供たちが喜んでくれることを期待しています。

また、新型コロナウイルスについては、国内においても、徐々にオミクロン株の感染例が報告されています。今のところ、症状の重度化はないようですが、学校における感染症対策について万全を期すよう、今月の校長会議において各校長に要請したところであります。

報告は以上ですが、何かご質問等ございませんか。

(一同「なし」の声)

## 5 議 案

(五十嵐教育長) 本日は、議案の審議はございません。

## 6 報告・協議

### 報告(1) 教育力向上マスタープランに係る先進地視察について

(教育部池田参事) 今年度、様々な視察を計画しておりますが、新型コロナの影響を受け、全ての視察を終了していない中ですが、本日は、今年度の視察の目玉の1つであるICTに関する先進地視察について、実際に視察に行かせてもらいました、指導室山岸指導主事、総務企画課ICT担当の山口主査、安藤主事から報告させていただきます。

(指導室山岸指導主事) -教育力向上マスタープランに係る先進地視察について説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(高橋委員) いよいよスタートし、どのような社会になるのか、10年後が楽しみです。現在の段階で、すべての学習のカリキュラムの中でどれくらいの割合で使われているのか、もし分かれば教えてください。
(教育部池田参事) まだ導入元年でありますので、割合まで出していませんが、できるところから行うということで、全体的には1、2割のレベルでスタートしているのではないかと考えています。今後、教科の狙いに応じて、必要であればどんどん増えていくかと思えます。ただ、ICTというのは、タブレットが全てではありませんので、必要に応じて、必要な場面で使うということになると思えます。
(高橋委員) ありがとうございます。
(齋藤委員) まだまだタブレットの導入が始まったばかりですので、これからどの市町村においても模索をしていくのかと思えます。今回、つくば市を訪問されて苫小牧市とパソコンの種類や環境が似ているということで、お互いにいろいろと参考にしたり、意見交換をしやすい街だったと思えますが、今回訪れて、つくば市の独自の取組など、是非、苫小牧市でも取り入れたいだとか、なかなか良い取組だなということや感想はありましたか。
(指導室山岸指導主事) 学校の先生方も今回一緒に視察に行きましたので、普段使っている中で疑問に思っていることをどんどん質問し、沢山答えて頂けたことは大変、勉強になった部分でした。Teamsの機能で分からない部分だとか、本当に細かいところまで教えていただきました。つくば市の授業を拝見して、ただICT機器を使えば良いというところから、一歩進んでおまして、必要な場面で活用する、必要に応じてノートを使い、書く授業も行うということで、使う場面を精選されている部分は大変勉強になりましたので、今後、市内に広めていけたらと思えます。
(齋藤委員) わかりました。ありがとうございます。
(佐藤委員) つくば市が英語教育で、シャドーイングやディクテーションをし、し

<p>っかりとスペルアウトする勉強をしていると思うのですが、ディクテーションはとても必要な勉強だと思いますが、少し軽んじられている部分もあるようです。ここ10年位から大学受験の中でもディクテーションが入るようになりましたが、市内ではディクテーションの経験やシャドーイングの経験はいつごろから体験できるのでしょうか。</p>
<p>(指導室山岸指導主事) 小学校は、文字を書くということはさて置きますが、耳から聞いて口から出すという意味では、シャドーイングは大変効果があると考えております。実際にどの程度行われているかということは把握しかねますが、私は中学校で英語を教えておりましたので、中学校では授業の中で1年生からシャドーイングを行い、聞こえてきた英語を書き取るというディクテーションも授業の中で行っておりました。</p>
<p>(佐藤委員) 経験しているとのことですね。ありがとうございます。もう1点、意見交換の中で文字を入力するということでしたが、現在、スマホで入力することはできるけれども、タイピングができない世代もいるようです。今のところ、問題なく自分の意見を入力するということはあるのでしょうか。</p>
<p>(指導室山岸指導主事) やはりタイピングの練習をしていく必要性について、各学校から声があがってきております。なかなか打ち込むというのは難しいことですので、タイピング練習を取り入れていきたいと思っております。</p>
<p>(佐藤委員) ありがとうございます。</p>
<p>(五十嵐教育長) 全体的な印象で良いのですが、つくば市で小学校、中学校を見て、苫小牧市の小学校、中学校の取組は、場面ごとにいろいろとあるとは思いますが、つくば市の方が少し進んでいるという感じを受けたのか、それとも苫小牧もあながち進んでいるという感じを受けたのか。そのあたり、全体的な印象で良いのですが、どのような感じでしたか。</p>
<p>(指導室山岸指導主事) 印象ですけれども、苫小牧もあながち進んでいると思えました。ただ、やはり行っている年数が違いますので、しっかり精選して使っていると</p>

いう部分では大変勉強になりました。また、タブレットの持ち帰りが自由になっていまして、持ち帰りたいときに先生に伝えて持ち帰っているという点は、苫小牧市よりも進んでいると感じました。

(教育部斎藤次長) 追加でよろしいでしょうか。総務企画課のICT環境整備担当も一緒に行かせていただきましたが、報告では、やはり今、苫小牧市の行っていること自体はそれほど違いがあるとは思えなかったですし、環境も同じような状況が揃っていると感じました。ただ、つくば市の方が支援体制、ICT支援員を学校に派遣したりだとか総合研究所というところで一括して環境整備と授業支援をしたり、そういう体制整備がつくば市の方が進んでいるという印象を受けました。

(五十嵐教育長) わかりました。その他、委員の皆様からございますか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

#### 報告(2) 令和3年度採用ALTについて

(教育部池田参事) -令和3年度採用ALTについて説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。私から1点確認です。令和2年度から始まったALTの保育園、幼稚園等への派遣事業について、令和2年度、大変評判が良く、もっと多く来て欲しいという幼稚園等からの要請もあったと思いますが、令和3年度の実施状況はいかがですか。

(教育部池田参事) 令和2年度については、一覧のマライア・シュワルツさんまで

の7名体制でした。7名で行ける範囲の幼稚園、保育園に行き、希望する幼稚園、保育園に2回ほど派遣しました。今年度については、11月ではありましたが、14名体制になりましたので、3回、4回、最大5回まで幼稚園、保育園の訪問を実施している状況です。

(五十嵐教育長) わかりました。その他、委員の皆様からございますか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

#### 報告(3) 単独道路交通安全対策事業について

(学校教育課長) -単独道路交通安全対策事業について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

#### 報告(4) 新第2学校給食共同調理場稼働及び付随する変更について



(学校給食共同調理場長) -新第2学校給食共同調理場稼働及び付随する変更について説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(一同「なし」の声)
(五十嵐教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
協議(1) 教職員の事故に対する対応について
(五十嵐教育長) 協議第1号につきましては人事案件でございますので、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、会議の日程の最後に審議を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(五十嵐教育長) それでは、協議第1号を秘密会とし、日程の最後に審議を行うことに決定いたします。
(五十嵐教育長) これより、先ほど秘密会と決定しました協議第1号について審議をいたします。関係者以外は退席をお願いいたします。

